

---

# 駅前にいる人

南波航助

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

駅前にいる人

### 【NZコード】

N3354D

### 【作者名】

南波航助

### 【あらすじ】

駅前にいる人どうしてあなたは、そこにいるの。駅前にいる人あなたはいつも、笑っていました。

「どうしてだろう。」

おじさんは、いつも同じところにいる。

何故ですか。こんな寒い日に。どうして立っているのですか。

駅前に、いつも立っている。

そして、僕を見ている。

満面の笑みを浮かべながら。

僕は、とつとう話しかけてみた。

「どうしてあなたはそこにいるんですか？」

何も言わなかつた。

「聞いてるんですか？」

何も話してはくれない。

それからというもの、僕は毎日駅前にいる人に話しかけた。

僕は、恋をした。

二十歳になつてやつとだつた。

その時からだつた。

駅前にいる人は、いなくなつた。

「どこへ行つたのだろう」「

土砂降りの日にさえたのに、今はいな

僕は、駅員さんに聞いてみた。

でも、そんな人はいなかつたと言つ。

見えなくなつてから一年後、僕は母と話をした。

「駅前に、人がずつといたんだ」つて。

母は言った。

「私も、昔は見たわ。でも、結婚してから見えなくなつたの」

同じだつた。

母は続けてこんなことを話してくれた。

駅前にいる人

それは

死んでしまつた

おじいちゃんだつて。

信じられなかつた。

どうしておじいちゃんがいたのか。

母は分かっているようだ。

僕にはまだ分からぬ。

駅前にいる人

どうしてあなたは

そこにいるの。

僕は歳を取った。

六十歳。

そして、死んでしまった。

今では分かる。

どうして駅前におじいちゃんがいたのか。

今では僕が

駅前にいる人。

(後書き)

こんな作品を描くのは初めてで、上手くいかなかつたかも知れません。読んで下さりありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3354d/>

---

駅前にいる人

2010年10月12日08時54分発行